

米国トランプ政権の動向

-核不拡散、核セキュリティ、原子力利用に係る政策、
FY2019予算要求及び関連人事について-
(意見交換)



2018年3月20日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構
核不拡散・核セキュリティ総合支援センター

平成29年度第2回核不拡散科学技術フォーラム

目次

1. 米国トランプ政権の核不拡散、核セキュリティ政策
2. 米国トランプ政権のエネルギー、原子力政策
3. 核不拡散、核セキュリティ等予算の概要
4. エネルギー、原子力関連予算
5. 政治任用ポストの動向

1. 米国トランプ政権の核不拡散、核セキュリティ政策

● 国家安全保障戦略（2017年12月18日発表）

米国の安全保障に重大な影響を与える課題は、中国や露国、イランや北朝鮮、テロリスト。これらへの対応方策として、「米国第一主義」に基づいて強い米国を実現するとし、「国民と国土の防衛」、「米国の繁栄促進」、「力による平和の維持」、そして「米国の影響力の拡大」を優先的課題として提示。

- ✓ 核兵器（備蓄核弾頭、核戦力の三本柱）、老朽化する核兵器関連インフラ（指揮管理システム等）、核兵器関連事業の維持及び近代化
- ✓ テロ対策及び大量破壊兵器拡散対抗に係る措置の強化と国際支援
- ✓ 原子力技術（特に次世代原子炉）向上により、エネルギー分野の技術的優位を進展

● 核態勢の見直し報告書（2018年2月2日発表）

「核兵器なき世界」を持論としたオバマ前政権に比し、中国や露国、イランや北朝鮮、テロリストによる核の脅威の増大に対抗するため「柔軟かつ多様な核戦力」の必要性を強調。

- ✓ 核戦力の三本柱の近代化、新型核兵器（潜水艦発射型弾道ミサイルに搭載可能な低威力核弾頭、海洋発射型核巡航ミサイル）の研究開発
- ✓ 核弾頭維持管理関連インフラの能力向上、核指揮統制通信システムのサイバー攻撃等からの防護強化
- ✓ 核テロ対策、核不拡散、核セキュリティの強化と国際支援（核・放射性物質、技術及び知識の不法移転の検知と阻止能力の強化、盗取に対する脆弱性の低減、核鑑識/輸出管理/保障措置の強化等）
- ✓ 国際原子力機関、包括的核実験禁止条約機構準備員会、国際監視体制、国際データセンターへの支持継続

2. 米国トランプ政権のエネルギー、原子力政策

- **米国第一エネルギー計画**(トランプ大統領、2017年1月)
 - ✓ オバマ前大統領が推進した気候変動行動計画、水資源保護の排除
 - ✓ シェール資源の開発と公共インフラの再建、雇用の創出
 - ✓ 米国石炭産業の再生、クリーンコール技術への取り組み
 - ✓ OPECや米国を敵視する国々からエネルギー自立を確立
- **米国によるエネルギー支配の確立と原子力に係るイニシアティブ**(トランプ大統領、2017年6月)
 - ✓ 米国の無限に近いエネルギー資源を活用し、エネルギー自立を確立するとともに、米国によるエネルギー支配を目指す。米国エネルギーを世界に輸出し、雇用を創出する
 - ✓ 米国の友好国、パートナー国、同盟国のエネルギー安全保障を確立する
 - ✓ オバマ前政権による規制を排除し、エネルギー開発及び関連インフラを整備する
 - ✓ 上記のための6つのイニシアティブの1つとして、原子力セクターを復活、拡大するために米国の原子力政策の包括的レビューを実施する
- **米国原子力産業の再活性化と原子力開発におけるリーダーシップ**(ペリー長官、2017年6月)
 - ✓ 先進炉及び先進SMRの開発で米国原子力産業の再活性化を図る
 - ✓ 原子力を再びクールなものとし、米国が原子力開発のリーダーシップをとる
- **石炭火力と原子力発電のための市場改革**(ペリー長官、2017年9月)
 - ✓ 2017年8月のDOEのGrid Study報告書に基づき、ペリー長官は連邦エネルギー規制委員会(FERC)に対し、電力供給網の信頼性やレジリエンスを維持する上で重要なベースロード電源(石炭火力・原子力発電所)を優遇する措置(税率の調整等)を検討するよう指示(ただし2018年1月、FERCは当該措置が電力卸市場の公平性確保の原則に反する可能性があることを理由に拒否)

3. 核不拡散、核セキュリティ等予算の概要(1)

トランプ政権になり、NNSA予算に関して、やはり核兵器活動及び海軍原子炉に係る予算要求額の伸びが著しい。他方、防衛核不拡散に係る予算要求額、及び国務省米国国際開発援助庁(DOS/USAID)予算の関連国際機関(IAEA/CTBTO)向け任意拠出の要求額はオバマ政権とそれほど変化がない。

(1) NNSAのFY2019予算要求 (FY2017実施予算との比較)

● 増額

- ✓ 核兵器活動：備蓄弾頭の近代化、新型核兵器の研究開発等… 110億2千万米ドル (19.2%)
- ✓ 海軍原子炉：原子力潜水艦の維持及び管理等…………… 17億9千万米ドル (16.7%)

● 減額 (ほぼ同額)

- ✓ 防衛核不拡散：核不拡散、核セキュリティ、核テロ対策等…………… 18億6千万米ドル (-0.9%)

(2) DOS/USAIDのFY2019予算における国際機関向け任意拠出の要求額 (FY2017実施予算との比較)

● 増額

- ✓ 国際原子力機関(IAEA)分担金…………… 1億1千万米ドル (10.1%)

● 減額 (ほぼ同額)

- ✓ IAEA特別拠出金…………… 9,090万米ドル (-4.1%)
- ✓ 包括的核実験禁止条約機関(CTBTO)準備委員会等の要求額
 - ① 国際監視制度への支援…………… 2,900万米ドル (-3.3%)
 - ② 準備委員会特別拠出金…………… 200万米ドル (0%)

3. 核不拡散、核セキュリティ等予算の概要(2)

3. NNSAのFY2019予算における防衛核不拡散に係る細目の変更等

● 増額

- ✓ 核テロ対抗及び核事故対応計画…………… 3億2千万米ドル (17.4%)
国内の危機対応チームの能力強化、核鑑識の国内技術の強化、IAEA共催の訓練実施等
- ✓ 核物質等の管理/核兵器に利用可能な核物質等の最小化…………… 3億3千万米ドル (15.2%)
米国高性能研究炉 (USHRR) 計画の実施、南カロライナ州からのPu (1トン) の除去、希釈処分 (D&D) オプションのライフサイクルコスト及びスケジュール評価の実施
- ✓ 不拡散及び軍備管理…………… 1億3千万米ドル (4.0%)
保障措置の効率化、イラン核計画の監視と不法移転阻止、米韓協定実施、NSG支援等

● 減額

- ✓ 不拡散構築 ……………… 2億8千万米ドル (-16.7%)
 - MFFF建設を取りやめ、その安全な閉鎖に係る予算 (2億2千万米ドル) を計上
 - D&Dオプションへの移行に係る予算 (6千万米ドル) を計上
- ✓ 世界の核物質等のセキュリティ確保…………… 3億4千万米ドル (-8.2%)
IAEA核セキュリティ・イニシアチブ、核検知・核鑑識、及び能力構築の支援等
- ✓ 防衛核不拡散研究開発…………… 4億6千万米ドル (-2.9%)
核拡散活動の検知や核物質のセキュリティに係る研究開発等

4. エネルギー、原子力関連予算

● 増額、新規

- ✓ 原子力エネルギー研究開発
 - 原子炉概念研究開発 …………… 1億6千万ドル (+23.5%)
高速炉や高温ガス炉等の先進炉技術の初期段階の研究開発、多目的先進炉の事前概念設計、先進SMRの研究開発
- ✓ 化石エネルギー研究開発 …………… 5,020万ドル (+19.2%)
化石燃料を使用する発電システムの信頼性及び効率性の向上に係る研究開発、炭素補足技術の研究開発等
- ✓ ヤッカマウンテン・中間貯蔵施設（新規）
 - ヤッカマウンテン放射性廃棄物処分施設の許認可に係るNRC支援 …… 9,040万ドル
 - 使用済燃料の中間貯蔵施設の許認可に係るNRC支援 …………… 660万ドル

● 減額、プロジェクトの終了提案

- ✓ エネルギー効率化と再生可能エネルギー …………… 7億ドル (-65.8%)
 - エネルギーの効率化 …………… 1億4千万ドル (-81.4%)
 - 再生可能エネルギー …………… 1億8千万ドル (-61.2%)
 - 配電・エネルギー信頼性* …………… 1億6千万ドル (-31.6%)
* FY2019要求から、従来の「配電・エネルギー信頼性」を、「配電」と「サイバーセキュリティ、エネルギー・セキュリティ及び緊急時対応」に分けて要求
- ✓ 原子力エネルギー …………… 7億6千万ドル (-25.5%)
 - ・燃料サイクル研究開発(軽水炉用事故耐性燃料の研究開発等) …… 6,000万ドル (-71.1%)
 - ・SMR許認可に係る技術支援 …………… 終了提案
- ✓ エネルギー高等研究計画局(ARPA-E)による融資プログラム …………… 終了提案
- ✓ 先進自動車製造や革新技术に係る融資プログラム …………… 終了提案

5. 政治任用ポストの動向

大統領就任1年間における指名・承認者数の比較（ブッシュ大統領、オバマ大統領、トランプ大統領）

	初年度	初年度12月末現在の 指名者数	初年度12月末現在の 承認者数
ブッシュ政権	2001年	741	493
オバマ政権	2009年	658	452
トランプ政権	2017年	502	300

CNNによると、トランプ大統領は、（これまでの新大統領の指名方針に従えば）4,000以上のポストを指名する必要があり、うち1,200以上のポストが上院の承認を要するという。しかしトランプ大統領は、2017年11月のフォーブス誌とのインタビューで、自らは不必要と思われる役職の指名は行わない方針を述べている。

・出典：CNN Politics, URL: <http://edition.cnn.com/interactive/2017/politics/trump-nominations>
（2018年3月6日現在）

大統領就任後の国務省人事（オバマ政権との比較）

	国務省			
政権	トランプ政権（2017-）		オバマ政権（2009-2017）	
役職名	氏名	承認日	氏名	承認日
長官	Rex Tillerson	2017/2/1	Hillary R. Clinton	2009/1/21
副長官（政策）	John J. Sullivan	2017/5/24	James Steinberg	2009/1/28
（管理・資源）	（空席）	-	Jacob Joseph Lew	2009/1/28
次官（政治）	Thomas A. Shannon Jr.	継続	William Joseph Burns	継続
（経済成長、エネルギー、環境）	（空席）	-	Robert D. Hormats	2009/9/22
（軍備管理・国際安全保障）	Andrea L. Thompson	承認待ち	Ellen O. Tauscher	2009/6/25
（公共外交・広報）	Irwin Steven Goldstein	2017/11/16	Judith A. McHale	2009/5/21
（管理）	Eric M. Ueland	承認待ち	Patrick F. Kennedy	継続
（セキュリティ・民主主義・人権）	（空席）	-	María Otero	2009/8/7
次官補（国際安全保障・不拡散）	Christopher A. Ford	2017/12/21	Thomas Countryman	2011/9/26

空席のポストは、代行者が業務を遂行

大統領就任後のエネルギー省人事 (オバマ政権との比較)

	エネルギー省			
政権	トランプ政権 (2017-)		オバマ政権(2009-2017)	
役職名	氏名	承認日	氏名	承認日
長官	James Rick Perry	2017/3/2	Steven Chu	2009/1/20
副長官	Dan R. Brouillette	2017/8/3	Daniel B. Poneman	2009/5/18
次官 (NNSA)	Frank G. Klotz Lisa Gordon-Hagerty	継続 2018/2/15	Thomas D'Agostino	継続
(エネルギー)	Mark Wesley Menezes	2017/11/2	Kristina M. Johnson	2009/5/19
(科学)	Paul Dabbar	2017/11/2	Steven E. Koonin	2009/5/19
NNSA防衛核不拡散担当副長官	Brent K. Park	承認待ち	Anne M. Harrington	2010/9/29
原子力担当次官補	(空席)	-	Warren F. Miller Jr.	2009/8/7

空席のポストは、代行者が業務を遂行

ご意見を頂きたい点

米国の核不拡散、核セキュリティ及び原子力政策の方向性について

- ✓ 北朝鮮やイランの核問題への対応
- ✓ 核セキュリティ・サミット後の方策
- ✓ 原子力の研究開発
- ✓ 政権幹部の交代、空席における影響